



きざし

勝田第二中学校 学校だより 第3号
令和8年4月20日(月)発行
文責:校長 川上徹行

勝田二中HP ↓

[https://hitachinaka.scho
olweb.ne.jp/0820010?tm
=20260324163759](https://hitachinaka.scho
olweb.ne.jp/0820010?tm
=20260324163759)



授業参観・学年学級懇談会・PTA総会、お世話になりました。

先週の17日はご多用の中、多数の保護者の方々にご来校いただき、ありがとうございました。生徒たちに、充実した学校生活を提供するために重要な、PTAの諸活動や予算が承認され、実質的に令和8年度をスタートさせることができました。「心美しき二中生たれ 心強き二中生たれ」の校訓のもと、更なる教育活動の充実を図ってまいります。保護者の皆様のご後援を今後ともよろしくお願いいたします。(以下は私が総会で話した学校経営方針の要点です。)

令和8年度の教育方針と取組について (要点)

本校の生徒たちは、2040年代の社会の中心として活躍する「未来の人財」です。社会が加速的に変化する中、「指示通りにできる」「正解を覚える」だけでは太刀打ちできない時代だと予想されます。そのような未来社会を、しなやかにかつ強かに生き抜くためには、「自律」の力(=他者と適切に関わりながら自分で考え、判断・行動する力)が求められます。自律的な学び手を育てるため、本校は以下のような方針で教育活動を進めてまいります。

1. 学力の向上と主体的な学び

基礎基本の学習とともに、汎用的に活用できる力の育成を重視。
探究的な学びを通して、学ぶことへの肯定的な自尊感情を引き出します。
単元テストやレポート等を重視し、「わかる・できる」の実感を大切にします。
生成AIやAIドリルの利活用を各教科授業で導入します。

2. 心理的安全性の確保と協働の力の育成

一人一人が活躍できる場を設定し、対話や協働の中で互いを尊重する力を育てます。
生徒会主導の行事や交流活動を通して、「群れる感覚(共同体感覚)」を養い、相互理解・多様性の尊重を学びます。

3. 自律を支える環境づくり

助言を受けながら最終的には自分で決定する力の育成を重視。
「自分は大切にされている、自分は大丈夫、自分にはできる力がある」と感じられる安心感のある環境を整えます。またアセスメント等(心理検査、セルフモニタリングアプリ)を活用し、個に応じた継続的な支援を実施します。

4. 教職員の学びと働きがい改革

教職員自身も積極的に学び、子供たちのロールモデルとなることを目指します。
校務効率化の取組として、部活動時間の維持、週時程を変更しない等ユニバーサル化を進めます。

5. 地域と家庭との連携

歴史と伝統のある本校の人的・物的資源を生かし、子供たちに多様な経験を提供。
地域や保護者の皆様のご協力により、子供たちの安全や成長を支えています。
部活動支援、登下校の見守りボランティア等にご協力いただき、深く感謝申し上げます。
情報発信はH&Sアプリや学校HP、PTA公式LINEにて行ってまいります、ご確認お願いします。

【活動の様子 4月10日(金)～】学級活動、授業参観、新入生歓迎会での生徒たち

